



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日本無線株式会社

コード番号 6751 URL <http://www.jrc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土田 隆平

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 中村 哲

TEL 0422-45-9774

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|--------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 53,228 | △8.5 | △5,506 | — | △5,970 | — | △4,676 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 58,165 | △4.8 | △2,927 | — | △3,683 | — | △2,267 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △5,766百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △3,374百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | △33.95 | — |
| 23年3月期第3四半期 | △16.46 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 100,340 | 38,363 | 37.9 |
| 23年3月期 | 118,613 | 44,821 | 37.5 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 37,999百万円 23年3月期 44,461百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

通期の配当予想に関する事項については、本日(平成24年2月3日)公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|---|--------|---|--------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 101,000 | △6.2 | △3,400 | — | △3,700 | — | △2,500 | — | △18.15 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の連結業績予想に関する事項については、本日(平成24年2月3日)公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 24年3月期3Q | 137,976,690 株 | 23年3月期 | 137,976,690 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 24年3月期3Q | 221,121 株 | 23年3月期 | 216,826 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 24年3月期3Q | 137,756,950 株 | 23年3月期3Q | 137,769,436 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| 受注の状況 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①売上高に関する当社グループの傾向

当社グループでは、官公庁・自治体等向け機器の出荷が年度末に集中するため、第4四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間の売上高と比較して多くなる傾向にあります。

②概況

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災(以下、震災)やその後の電力供給不足による影響などにより経済活動が停滞する中で、サプライチェーンの立て直しにより生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、欧州の政府債務危機などの影響により、高水準の円高や、海外景気が下振れしてわが国の景気が下押しされるリスクが強まるなど、厳しい状況が継続することとなりました。また、タイの洪水被害による影響なども相まって、景気の先行きは不透明感を増すこととなりました。

このような状況の中で、当社グループは積極的な営業活動に努めましたが、当第3四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりとなりました。

売上高につきましては、海上機器事業が商船新造船分野の伸張等により前年同期を上回ったものの、通信機器事業およびソリューション・特機事業が前年同期を下回りました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は532億2千8百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

利益につきましては、売上高の減少や円高の影響等により、営業損失が55億6百万円(前年同期は29億2千7百万円の営業損失)となりました。また、営業外費用の「為替差損」4億8千3百万円等により経常損失は59億7千万円(前年同期は36億8千3百万円の経常損失)、特別利益の「固定資産売却益」11億7千5百万円および「投資有価証券売却益」8億9千万円、特別損失の「減損損失」4億5千2百万円等により四半期純損失は46億7千6百万円(前年同期は22億6千7百万円の四半期純損失)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント利益または損失は、営業利益(または営業損失)ベースの数値であります。

(海上機器事業)

中国向けを中心に商船新造船分野が伸張し、また商船換装分野も増加しました。この結果、売上高は218億6千3百万円(前年同期比0.7%増)となりました。一方、円高による為替の影響等により、セグメント利益は3億1千1百万円(前年同期比61.6%減)となりました。

(通信機器事業)

PHS端末機器が増加したものの、海外向け通信インフラ関連機器や業務用無線機等が減少しました。また、ITS機器も自動車関連市場が震災による影響を受けたことにより減少しました。この結果、売上高は92億5千9百万円(前年同期比14.0%減)、セグメント損失は23億1千7百万円(前年同期は14億9百万円のセグメント損失)となりました。

(ソリューション・特機事業)

地上波デジタル放送機器の整備が一巡し放送システムが減少したことなどから、売上高は154億3千1百万円(前年同期比20.2%減)、セグメント損失は42億3千1百万円(前年同期は24億1千6百万円のセグメント損失)となりました。

(その他)

上記のセグメントに含まれない「その他」の売上高は66億7千3百万円、セグメント利益は7億5千7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比182億7千2百万円減少し、1,003億4千万円となりました。これは主に、官公庁・自治体等向け機器の出荷が年度末に集中する影響等により増加した期末売上債権の回収が進み、「受取手形及び売掛金」が前連結会計年度末に比べて220億9千4百万円減少したこと等によります。また、譲渡性預金を減少させたことにより「有価証券」が前連結会計年度末に比べて174億9千7百万円減少しましたが、親会社への預け入れにより「関係会社短期貸付金」が前連結会計年度末に比べて173億1千7百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末比118億1千4百万円減少し、619億7千7百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末に比べて「支払手形及び買掛金」が99億円減少したことや「長期借入金」（1年内返済予定含む）が43億7千2百万円減少したことによります。当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末比64億5千8百万円減少し、383億6千3百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べて「利益剰余金」が53億6千5百万円減少したことや「その他有価証券評価差額金」が10億8千4百万円減少したことによります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較し0.4ポイント上昇し、37.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

円高による為替の影響や世界景気の後退による海運市場の悪化などにより、海上機器の売上が予想から落ち込む見込みとなりました。また、海外向け通信インフラ機器の低迷やタイ洪水の影響などによるITS関連機器の伸び悩み、さらには東日本大震災や大型台風の影響による公共事業の計画見直しや発注時期のずれ込みで官公庁向けソリューションシステムの売上也減少する見込みです。売上減少に伴い、収益悪化も避けられない見込みとなりました。加えて、当第3四半期におきまして、通信機器事業用資産の減損損失を特別損失に計上しました。これらの理由により、平成23年11月7日に公表した業績予想を以下のとおり修正いたしました。

当社グループといたしましては、今後の拡大が予想される防災需要や、通信トラフィックの増大に伴う通信インフラ需要を確実に取り込むとともに、新規事業の創出、新規顧客の開拓等に全力を傾注し、収益の回復を図ります。また、事業構造改革を強力に推進し、売上拡大と利益体質の強化に向け邁進いたします。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------|---------|--------|--------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 112,800 | 3,000 | 2,600 | 4,300 | 31.21 |
| 今回修正予想 (B) | 101,000 | △3,400 | △3,700 | △2,500 | △18.15 |
| 増減額 (B - A) | △11,800 | △6,400 | △6,300 | △6,800 | — |
| 増減率 (%) | △10.5 | — | — | — | — |
| 前期実績 (平成23年3月期) | 107,705 | 1,551 | 1,133 | 1,921 | 13.95 |

(参考) 平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------|---------|--------|--------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 105,000 | 2,500 | 2,000 | 3,900 | 28.31 |
| 今回修正予想 (B) | 93,000 | △3,900 | △4,300 | △2,900 | △21.05 |
| 増減額 (B - A) | △12,000 | △6,400 | △6,300 | △6,800 | — |
| 増減率 (%) | △11.4 | — | — | — | — |
| 前期実績 (平成23年3月期) | 99,637 | 1,053 | 545 | 1,570 | 11.40 |

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,960 | 3,377 |
| 受取手形及び売掛金 | 45,984 | 23,890 |
| 有価証券 | 17,660 | 162 |
| 商品及び製品 | 6,212 | 6,858 |
| 仕掛品 | 15,091 | 24,574 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,328 | 3,521 |
| 前渡金 | 1,020 | 673 |
| 繰延税金資産 | 319 | 278 |
| 関係会社短期貸付金 | — | 17,317 |
| その他 | 546 | 1,405 |
| 貸倒引当金 | △206 | △148 |
| 流動資産合計 | 95,917 | 81,912 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,455 | 5,237 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 818 | 539 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,018 | 753 |
| 土地 | 1,964 | 1,955 |
| リース資産(純額) | 134 | 126 |
| 建設仮勘定 | 32 | 346 |
| 有形固定資産合計 | 9,424 | 8,960 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 545 | 440 |
| その他 | 139 | 156 |
| 無形固定資産合計 | 684 | 597 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,411 | 4,884 |
| 長期貸付金 | 15 | 13 |
| 繰延税金資産 | 1,261 | 1,251 |
| その他 | 4,474 | 4,284 |
| 貸倒引当金 | △1,575 | △1,563 |
| 投資その他の資産合計 | 12,586 | 8,871 |
| 固定資産合計 | 22,695 | 18,428 |
| 資産合計 | 118,613 | 100,340 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 27,063 | 17,163 |
| 短期借入金 | 1,770 | 2,100 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 18,763 | 16,036 |
| 未払費用 | 2,122 | 2,440 |
| リース債務 | 65 | 74 |
| 未払法人税等 | 256 | 208 |
| 前受金 | 2,241 | 5,602 |
| 預り金 | 195 | 557 |
| 製品保証引当金 | 123 | 304 |
| 災害損失引当金 | 100 | — |
| その他 | 3,699 | 2,215 |
| 流動負債合計 | 56,400 | 46,702 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,942 | 1,296 |
| リース債務 | 162 | 139 |
| 繰延税金負債 | 721 | — |
| 退職給付引当金 | 12,167 | 12,461 |
| 役員退職慰労引当金 | 173 | 154 |
| 環境対策引当金 | 230 | 230 |
| 資産除去債務 | 352 | 346 |
| その他 | 642 | 645 |
| 固定負債合計 | 17,392 | 15,275 |
| 負債合計 | 73,792 | 61,977 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,704 | 14,704 |
| 資本剰余金 | 16,504 | 16,504 |
| 利益剰余金 | 12,247 | 6,882 |
| 自己株式 | △68 | △69 |
| 株主資本合計 | 43,388 | 38,021 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,083 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △10 | △21 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,073 | △22 |
| 少数株主持分 | 359 | 363 |
| 純資産合計 | 44,821 | 38,363 |
| 負債純資産合計 | 118,613 | 100,340 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 58,165 | 53,228 |
| 売上原価 | 48,955 | 46,152 |
| 売上総利益 | 9,210 | 7,075 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,137 | 12,582 |
| 営業損失(△) | △2,927 | △5,506 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 26 | 111 |
| 受取配当金 | 179 | 118 |
| 持分法による投資利益 | 46 | 113 |
| その他 | 95 | 61 |
| 営業外収益合計 | 346 | 404 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 324 | 302 |
| 為替差損 | 688 | 483 |
| その他 | 90 | 82 |
| 営業外費用合計 | 1,103 | 868 |
| 経常損失(△) | △3,683 | △5,970 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 1,963 | 890 |
| 貸倒引当金戻入額 | 39 | — |
| 固定資産売却益 | — | 1,175 |
| その他 | 9 | — |
| 特別利益合計 | 2,012 | 2,066 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 58 | 57 |
| 減損損失 | — | 452 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 368 | — |
| その他 | 2 | — |
| 特別損失合計 | 430 | 510 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △2,101 | △4,414 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 138 | 186 |
| 法人税等調整額 | 10 | 70 |
| 法人税等合計 | 149 | 257 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △2,250 | △4,671 |
| 少数株主利益 | 16 | 4 |
| 四半期純損失(△) | △2,267 | △4,676 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失 (△) | △2,250 | △4,671 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,111 | △1,078 |
| 為替換算調整勘定 | △9 | △11 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △3 | △4 |
| その他の包括利益合計 | △1,124 | △1,094 |
| 四半期包括利益 | △3,374 | △5,766 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △3,391 | △5,772 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 16 | 6 |

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|----------|----------|--------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 海上 機器 | 通信 機器 | ソリュー ション・ 特機 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 21,704 | 10,764 | 19,337 | 51,806 | 6,359 | 58,165 | — | 58,165 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 1 | 4 | 30 | 36 | 4,126 | 4,162 | △4,162 | — |
| 計 | 21,705 | 10,769 | 19,368 | 51,842 | 10,485 | 62,328 | △4,162 | 58,165 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 811 | △1,409 | △2,416 | △3,013 | 111 | △2,902 | △24 | △2,927 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における特機事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、棚卸資産に含まれる未実現利益の調整額等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|----------|----------|--------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 海上 機器 | 通信 機器 | ソリュー ション・ 特機 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 21,863 | 9,259 | 15,431 | 46,554 | 6,673 | 53,228 | — | 53,228 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 0 | 1 | 35 | 37 | 4,071 | 4,109 | △4,109 | — |
| 計 | 21,864 | 9,261 | 15,466 | 46,592 | 10,745 | 57,337 | △4,109 | 53,228 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 311 | △2,317 | △4,231 | △6,237 | 757 | △5,479 | △26 | △5,506 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における特機事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、棚卸資産に含まれる未実現利益の調整額△25百万円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「通信機器」セグメントにおいて、通信機器の事業用資産については、継続的な黒字化が不確実なため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては451百万円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(百万円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|------------|----------|------------|-----------|------------|
| 海上機器 | 18,710 | △10.4 | 15,667 | △19.1 |
| 通信機器 | 10,235 | △21.7 | 3,343 | △17.6 |
| ソリューション・特機 | 31,563 | △23.7 | 40,454 | △10.0 |
| その他 | 6,323 | 6.2 | 2,700 | 2.0 |
| 合計 | 66,832 | △17.8 | 62,166 | △12.5 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。